

# 高齢者の消費者トラブルの特徴

高齢者は、「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っているといわれています。悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙ってきます。また、高齢者は自宅にすることが多いため、訪問販売や電話勧誘販売による被害にあいやすいのも特徴です。



## 特徴1

消費者トラブルにあっていることに気づいていないこともあります。

悪質業者は、高齢者に優しく近づいてきます。そして、親しくなり、油断したところで契約を勧めてきます。親しくなっているため、だまされていることに気づきません。

## 特徴2

消費者トラブルにあったことに気づいても、誰にも相談しない傾向があります。被害にあったことを恥ずかしく思い、迷惑をかけたくないと思う方が少なくありません。

また、「面倒だから」「自分に責任があるから」「気まずい思いをしたくないから」「叱られたくないから」といった理由で、相談できないこともあります。

また、悪質業者の中には、巧みなセールストークで不安をあおったり、「誰にも言うてはいけない」と口止めをしたりする場合もあります。

## だまされ度チェック

～あなたもだまされやすいかも？～

- 「お得な話」や「もうけ話」に興味がある。
- 自分の気持ちをはっきり言うと相手に悪いと思う。
- 「限定品」「先着」と言われると買ってしまう。
- 健康が気になる。
- 家にこもりがちで生活に変化が少ない。
- 先々の老後の生活が不安だと思う。
- 服装や言動で人を判断しやすい。
- 人に勧められると断れない。
- だまされる人は運が悪い。自分は大丈夫だと思う。
- 何事も、誰にも相談せずに自分で決める。

いかがでしたか？  が多いほど、  
トラブルにあう可能性が高いと考えられます。

## ご家族、民生委員、介護ヘルパー、ケアマネージャー、ご近所の皆さんへ

みなさんの見守りが高齢者の消費者トラブルを防ぎます。  
また、日ごろから消費者トラブルについて注意を促し、話をしましょう。

### ✓ 高齢者の見守りチェックポイント ～こんなことがあったら…～

- 外出が増えた。
- 電話を取るのを敬遠したり、電話口で困っていたりする。
- 憂うつそうな様子。
- お金に困っているような様子。
- 見慣れない人が頻繁に出入りする。
- 見慣れないダンボール箱や多くの新しい品物、領収書、名刺などがある。
- 業者と会う日時や支払日等、カレンダーやメモに不審な書き込みがある。
- パンフレット、権利証等がある。

### ! このように対応しましょう!

- 本人に事情を聞いてみてください。
- 悪質商法が疑われる場合は、すぐにご相談ください。  
(相談先はP8を参考にしてください。)
- 一人暮らしのお年寄りには特に声かけをお願いします。
- 一人での相談が不安な方には、付き添っていただくと相談しやすいようです。

## 消費者トラブルに 遭わないための7か条

1. 見知らぬ訪問者は家に入れない
2. 知らない人に簡単に個人情報を教えない
3. いらないものは「いりません!」と  
きっぱり断る
4. その場で契約したりお金を  
渡したりしない
5. 契約前に、契約書や説明を  
よく読む
6. 家族や友人にすぐ相談する
7. 留守番電話機能や番号表示  
サービス、着信拒否機能などを  
活用する